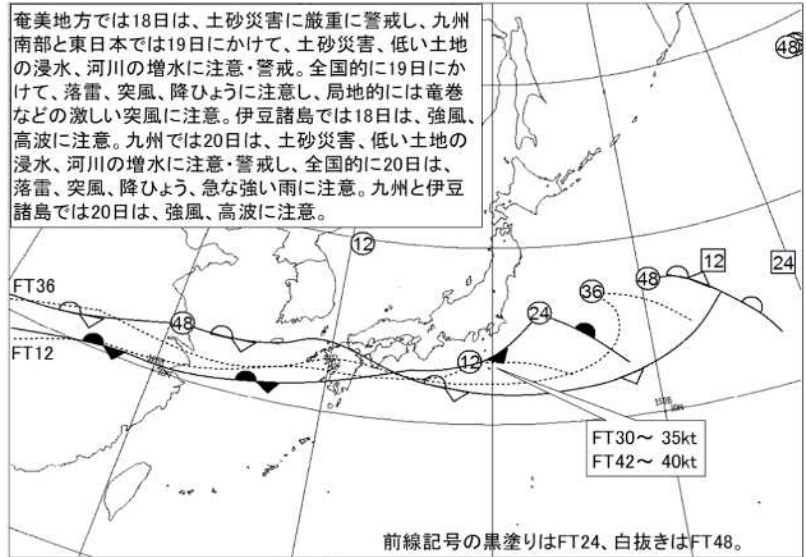


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5820m付近のトラフに対応した前線を伴う低気圧が紀伊半島沖を東北東進。前線が日本の東から奄美海域付近を通り華中へのびている。九州西方海上から奄美地方では、前線付近から暖域にかけて激しい雨を解析し、発雷を多数検知。
- ② 500hPa 5760m付近で-9℃以下の寒気を伴うトラフが朝鮮半島付近を東進。トラフ前面で発雷を多数検知。
- ③ 日本の東の高気圧が東北東へ移動。朝鮮半島付近の低気圧が東北東進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項②の朝鮮半島付近のトラフは、19日夜にかけて本州付近を通り、日本の東へ進む。1項①の低気圧は、次第に本州付近を通るトラフに対応し、発達しながら本州の南岸を東北東へ進み、19日夜にかけて閉塞しながら、日本の東へ進む。前線は日本のはるか東から本州の南岸と九州付近を通り、華中へのびて、九州付近では19日夜にかけて、ゆっくり北上する。1項③の高気圧は、19日にかけて、日本のはるか東へ移動。1項③の朝鮮半島付近の低気圧は、沿海州付近へ北上し19日夜までに不明瞭化する。前線や低気圧に向かう850hPa 相当温位 345K以上の下層暖湿気、地上の昇温、上空の寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴う非常に激しい雨の降る所がある。奄美地方では18日は、土砂災害に嚴重に警戒し、九州南部と東日本では19日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。全国的に19日にかけて、落雷、突風、降ひょうに注意し、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。低気圧と1項③の日本の東の高気圧との間で気圧の傾きが急となり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。伊豆諸島では18日は、強風、高波に注意。

② 500hPa 5820m付近のトラフに対応し、19日夜までに長江下流では前線上に低気圧が発生する。低気圧は、20日夜にかけて日本海西部へ進み、前線は本州から九州を通り華中へのびる。20日は、500hPa 5760m付近で-15℃以下の寒気を伴うトラフが北海道付近を通過する。低気圧や前線に向かう下層暖湿気と上空の寒気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴う激しい雨の降る所がある。九州では20日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、全国的に20日は、落雷、突風、降ひょう、急な強い雨に注意し、竜巻などの激しい突風にも留意。前線や低気圧の影響で、強い風が吹き、波が高くなる所がある。九州と伊豆諸島では20日は、強風、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。2項②の日本海へ進む低気圧や前線の位置や勢力の予想には不確実性があることに留意。

4. 防災関連事項【量的予報等】

- ① 雨量(06時からの24時間)：九州南部120、伊豆諸島・奄美100mm。② 波浪(明日まで)：伊豆諸島3m。

5. 全般気象解説情報発表の有無 発表の予定はない。